



ふくしまの未来を創る！

## Fukurum法人カードに加入

1月28日、町は利用額の一部が県内の生徒や学生の活動支援に充てられるFukurumカードの法人会員になりました。同日、山口正幸Fukurumカード推進協議会会長らが町役場を訪れ、薄町長に対し、加入への感謝を伝えました。

町では、西会津高校が、令和6年度ふくしまの未来を創るFukurum基金を活用し西会津産のミニトマトを使用したミニトマトジャム「とまそるたん★ぷち」を開発しています。薄町長は「生徒たちが開発した商品を多くの人に買っていただくことで、自分たちの作ったものが地元で役に立っている事を実感するいい機会になる。西会津町だけではなく福島県全体のためにFukurumカードを積極的に利用していきたい」と事業への期待と想いを話していました。



▲左から山口Fukurumカード推進協議会会長、薄町長

## 町長コラム

その44



2月4日から断続的に降り続いた大雪により、62年振りとなる大雪による災害救助法が2月7日に適用された。  
森野自治区のアメダス観測地点では172センチの積雪となるなど、町除雪受託組合や直営の除雪作業員の皆さんを中心に、連日の除雪作業にあたられていて、心より感謝を申し上げます。  
また、例年に無い大雪により野沢町内では流雪溝の水の確保ができないことから投雪禁止へのご協力や、町内全域で除雪作業が追いつかず各家庭においても大変にご苦労されたと拝察いたします。そのような中においても地域で声を掛け合いながら共助の心で行っていただけたこと、衷心より感謝を申し上げます。  
町では、1月に設置した豪雪対策本部を中心に、道路の除雪に重点を置き、災害救助法に基づく要援護世帯に対して町建設業組合等や福島レッドホープスの選手、町職員等による除排雪を実施したところであり、ご協力をいただいた多くの皆さんに、改めて感謝を申し上げます。  
一方で温かな話題として、掘削中の「温泉健康保養センター」の新しい源泉からお湯が出てホッとしている。源泉井の深さは750メートル、温度52・5度、湯量は毎分201リットル、泉質はナトリウム塩化物泉、高張性弱アルカリ性高温泉で、これまでの温泉と同様の結果となり一安心。ロータスインの温泉は、平成4年に「温泉健康保養センター」により温泉を掘削、平成4年に「温泉健康保養センター」を開設し現在に至っている。年間6万6千人、延べ200万人以上が利用されており、町民の健康増進、福祉向上及び地域活性化に重要な中核施設となっている。  
今後は配管工事等を新年度に行う予定であり、4月1日以降も沸かし湯となりますが、新しい温泉を、年内のできるだけ早い時期に利用できるよう、残る作業を全力で進めてまいります。  
町民の皆様には引き続きご不便をおかけしますが、今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

西会津町長  
薄 辰喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

## 有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。  
詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

社会福祉に役立てて

## 歳末助け合いチャリティーショー益金の一部を寄付

1月30日、桃山会普門連合会の佐藤新一会長と主宰の青木照夫さんが町役場を訪れ、昨年行われた歳末助け合いチャリティーショーで寄せられた益金の一部を寄付金として、町共同募金委員会会長である薄町長に手渡しました。

このチャリティーショーは、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、歳末助け合いを目的に行われています。



▲写真左から薄町長、佐藤会長、青木さん

## 【お詫びと訂正】

広報にしあいづ令和7年2月号10ページに掲載の内容に誤りがありましたので訂正いたします。

町赤十字奉仕団から寄付されたNHK海外たすけあい救援金は日本赤十字社西会津町区分長の薄町長を通して、日本赤十字社福島県支部へ渡されます。



▲写真左から薄町長、小野木信子委員長、矢部ひとみ副委員長、新田麗子副委員長

議案を審議・可決

## 町議会臨時会報告

1月27日に臨時会が開かれ、次の議案が原案のとおり承認・可決されました。

## ◆令和6年度西会津町一般会計補正予算（第7次）

＝国の経済対策に係る低所得者支援および生活応援商品券に係る事業費や中学校体育館への空調設備設置に係る経費を計上したことなどに伴う補正

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。